



滝沢市自治会連合会

創立 50 周年記念誌発刊にあたって

滝沢市自治会連合会会長 下 田 富 幸

滝沢市自治会連合会創立 50 周年記念誌を発刊するにあたり、ご協力をいただきました関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

当連合会 50 年の歩みを顧みますと、昭和 45 年に開催された岩手国体を市民一丸となって成功させるべく昭和 43 年に結成が進められた部落会が原点であり、その連合体として自治会連合会が組織されたのが、50 年前の昭和 46 年でありました。

連合会創立当時、人口は約 1 万 3 千人、3 千世帯、自治会数は 13 でしたが、50 年後の今日においては、人口約 5 万 6 千人、2 万 4 千世帯、自治会数も 32 を数えるほどに発展いたしました。

設立当初の純農村地帯から都市化へと大きな変貌を遂げ、行政においても、平成 26 年 1 月 1 日には、多くの住民が待ち望んだ市制へと大きな一歩を踏み出し「住民自治日本一」を標榜する滝沢市として今日に至っております。

このような中であって当連合会は、住民の自主的な地域づくり活動の中核として、市行政と一体となって、住み良い地域づくりに鋭意取り組んできたところでもあります。

近年においては、多様化する住民ニーズに対応すべく、防災防犯や環境、健康福祉、交通安全と活動範囲は多岐にわたり、まさに安心・安全な地域づくりのために、会員一同日夜努力を重ねております。

平成 23 年 3 月 11 日、未曾有の東日本大震災が発生し、多くの尊い命が奪われるという悲劇に見舞われました。当連合会では、被災地の一日も早い復興を願い、全自治会の協力の下、1 千万円を超える義援金を集め、被災地支援に尽力してまいりました。その後も、地震・台風などの自然災害においても、被災地の早い復興を願い、市民の善意をお届けしてきたところでもあります。

こうした活動に加え、地域づくりにあたっての市政の良きパートナーとしての実績が認められ、平成 29 年 11 月には、総務大臣表彰を受賞する栄に浴しました。後日開催された祝賀会においては、お世話になった皆様に対する感謝と、受賞を契機に更なる市民主体の活動に磨きを掛けようと、一同誓い合ったものでした。それから早いもので、4 年が経過し 50 周年の節目を迎えました。

令和 2 年から猛威をふるっている、新型コロナウイルス感染症の影響により、自治会活動のあり方にも変化が求められております。

創立 50 周年の節目を契機として、これまでの活動を振り返り、人と人との絆を大切に、心新たに市民が幸福感を育む地域づくりに邁進して参る所存であります。

結びに、市ご当局をはじめ、関係団体の皆様方の今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、記念誌発刊にあたっての挨拶といたします。